

特に十五〜二十四歳(四十三万人)、五十五〜六十四歳(四十二万人)に集中している。

失業の理由をみると、学校を卒業したものの就職先が見つからない人が過去最

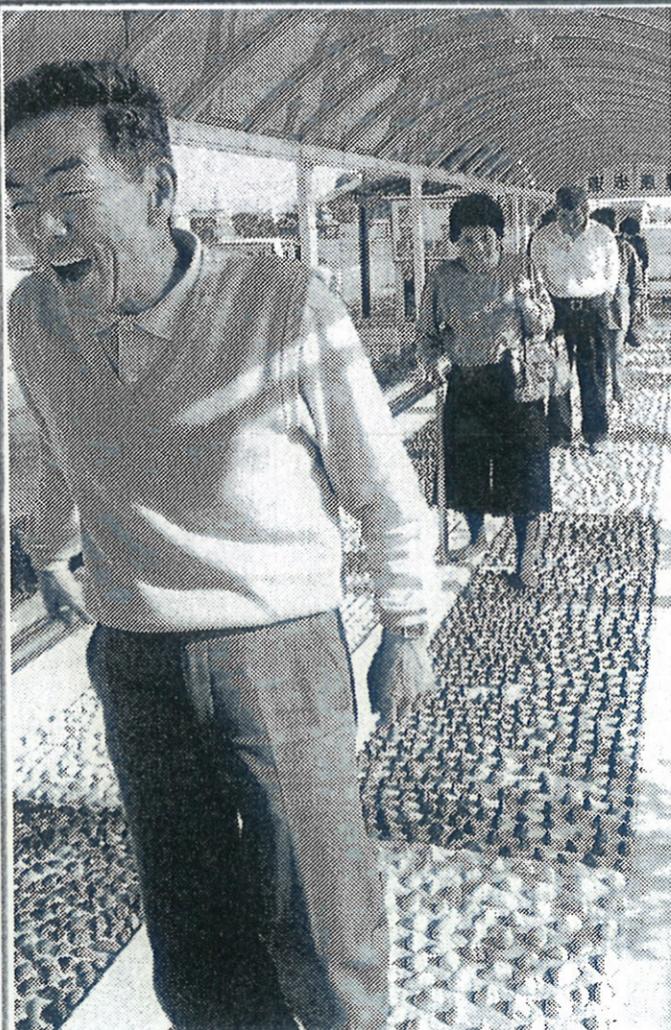
# 新指針法案を閣議決定

## 国会提出へ 周辺事態で米軍支援

政府は二十八日の閣議で、新たな日米防衛協力のための指針(ガイドライン)の関連法案と条約改定を決定した。日本周辺有事への対応を定めた周辺事態法案、自衛隊法改正案、日米物品役務相互提供協定(ACSA)改定の三本柱で、周辺事態の際の人員や物資の輸送、燃料補給など米軍への後方地域支援、国連安全保障理事会の決議に基づく船舶検査(臨検)、米兵の捜索救助活動などを打ち出している。政府は同日

CSA)改定の三本柱で、周辺事態の際の人員や物資の輸送、燃料補給など米軍への後方地域支援、国連安全保障理事会の決議に基づく船舶検査(臨検)、米兵の捜索救助活動などを打ち出している。政府は同日

CSA)改定の三本柱で、周辺事態の際の人員や物資の輸送、燃料補給など米軍への後方地域支援、国連安全保障理事会の決議に基づく船舶検査(臨検)、米兵の捜索救助活動などを打ち出している。政府は同日



【解説】失業率の上昇が加速している。一月で〇・三ポイント上昇するのは異例。特に十五〜二十四歳と六十一〜六十四歳の男性の雇用環境が厳しい。サービス業など一部業種で雇用は増えているが、製造業や建設業の就業者減を補うには不十分で、雇用の受け皿不在が顕在化している。

政府は五百億円規模の雇用対策を実施するが、いずれも現金給付の拡充など「ばらまき型」の施策が多い。どれだけ雇用情勢を好転させられるかは不透明で、失業率は当面、高止まりする可能性がある。

業績低迷の続く多くの企業で雇用意欲が冷え込んでおり、企業倒産は三月だけで千八百社を超え、一万六

【世帯主の失業率も二・八%まで悪化した。】夫の収入減を補おうと新たにパートなどを探す女性が労働市場で増えているが、労働力の供給過剰を生み、女性の失業率が上昇している。

輸送など米軍への後方地域支援②米兵らの捜索・救助③国連安保理決議に基づ

政府は緊急事態の発生後、安全保障会議を招集し、周辺事態に当たるとどうか検討の上で閣議を開き、活動内容や区域などを定めた基本計画を決定、速やかに国会報告する。防衛庁長官は実施要項を定め、部隊に命合する。

在外邦人救出や米兵らの捜索・救難活動での武器使用については、派遣隊員や救出した人の生命を守るため「合理的に必要と判断される限度で」武器使用を認め、攻撃してきた相手側の武器に応じて武器を使用

自衛隊法改正案は、航空機に限定している在外邦人救出の輸送手段として艦船

また、新たな対策実施には政令改正などの手続きが必要。実際に動き出すのは六月以降になる見通しだ。この間に消費低迷や企業の売り上げ減少が続く、雇用指標の一層の悪化をもたらす懸念がある。

【ニューヨーク27日ロイター】二十七日のニューヨーク株式相場は米連邦準備理事会(FRB)による利上げ懸念が広がり、ダウ工業株三十種平均は前週末比

十二万人の減少は補うのに力不足は明らかだ。労働省は「雇用開発プログラム」として、一時帰休を実施した企業や、四十五歳以上の中高年を新たに雇った企業への賃金の増増補助などを実施する。しかし

### 黄金週間

兵庫県太子町。田園が広がる町に一日最多千人が集まる名所が登場した。コンクリート路面に小石を敷き詰めただけの幅三メートル、長さ三十メートルの「健康歩道」。靴を脱いで歩くと足の裏のツボが刺激される。最初は痛がる人が多いが、「腰痛が治った」などと評判だ。老人は黙々と、主婦らは世間話をしながらゆっくと歩

癒しと触れ合いの小道

日薬を飲んでいたが、今は週一回と話す。施設を造ったのは造園業を営む桑田静昭さん(47)。脳内出血で倒れたのを機に自宅敷地に昨年春建設、一般に開放した。健康歩道は兵庫県内で数カ所あり、横浜にも登場。関西電力も今春、住民向

モデルは台湾の健康歩道。台北駐日経済文化代表処(東京・港)は「台湾では以前からあったが、ここ数年流行している」。背景には東洋医学がある。健康歩道は日本でも癒(いや)しと触れ合いの場となりそうだ。



石が埋め込まれた「健康歩道」で足の裏を刺激。思わず「イタタ...」

(兵庫県太子町)

兵庫県太子町。田園が広がる町に一日最多千人が集まる名所が登場した。コンクリート路面に小石を敷き詰めただけの幅三メートル、長さ三十メートルの「健康歩道」。靴を脱いで歩くと足の裏のツボが刺激される。最初は痛がる人が多いが、「腰痛が治った」などと評判だ。老人は黙々と、主婦らは世間話をしながらゆっくと歩

癒しと触れ合いの小道

日薬を飲んでいたが、今は週一回と話す。施設を造ったのは造園業を営む桑田静昭さん(47)。脳内出血で倒れたのを機に自宅敷地に昨年春建設、一般に開放した。健康歩道は兵庫県内で数カ所あり、横浜にも登場。関西電力も今春、住民向

モデルは台湾の健康歩道。台北駐日経済文化代表処(東京・港)は「台湾では以前からあったが、ここ数年流行している」。背景には東洋医学がある。健康歩道は日本でも癒(いや)しと触れ合いの場となりそうだ。

(姫路支局長 菊次正明)